

研究課題名 (研究番号)	感冒に対する抗菌薬の使用実態(2026-026)
当薬局の研究責任者 (所属)	弓削 史司(教育情報部)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	橋爪 敦弘(日本医薬総合研究所) 齋藤 充生(ヘルスヴィジランス研究会)
本研究の目的	ほとんどの風邪やインフルエンザはウイルスが原因であり、抗菌薬はウイルスが原因となる感染症には無効です。逆に無駄な抗菌薬を使用すると、薬剤耐性が発現する可能性が懸念されます(急性副鼻腔炎のように抗菌薬が必要な場合もある)。そこで今回、感冒、インフルエンザ、コロナやインフルの治療において、抗菌薬が使用されている実態について調査します。
調査データ 該当期間	2023年4月から2026年3月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さま 当薬局において、感冒、インフルエンザ、コロナウイルス治療に対して処方日数が7日以内の患者さま。「解熱鎮痛薬」「抗ヒスタミン薬」「鎮咳薬」を全て服用している患者さま。</li> <li>●利用する情報 処方箋の記録を利用します。</li> </ul>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム <a href="https://www.nicho.co.jp/inquiry/">https://www.nicho.co.jp/inquiry/</a>
備考	研究期間: 2026年6月30日まで